

公益財団法人山梨県下水道公社 第3期経営計画目標達成状況 (1/2)

項目	目標	計画	主な取組状況	評価及び今後の対応	
流域下水道維持管理事業	良好な汚水処理の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>放流水質管理目標の達成</li> <li>汚泥処理管理目標の達成</li> <li>その他上記目標の達成に関連する取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放流水質管理目標の達成</li> <li>適正な水処理管理と水処理技術の向上</li> <li>汚泥処理管理目標の達成</li> <li>適正な汚泥処理管理と汚泥処理技術の向上</li> <li>適切な流入水質の監視</li> <li>特定事業場の把握</li> <li>新たな規制物質や規制強化物質の情報収集、モニタリング及び運転管理などにおける最適な手法の検討</li> <li>効果的な普及啓発活動（下水道の正しい使い方）の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>流入下水量や流入水質の変動に応じた処理施設の適切な運転と現有施設の効果的な活用に努めました。</li> <li>汚泥性状に最適な高分子凝集剤を選定し、使用しました。</li> <li>汚泥性状に応じた薬品注入率の最適化等、各設備の適切な運転に努めました。</li> <li>水質日常試験、公共下水道接続点水質検査などを実施し、流入水質を監視しました。</li> <li>悪質下水の流入時には、関係市町村が行う排出事業者の特定に協力しました。</li> <li>新たに下水道に接続した特定事業場の情報を把握するとともに、下水道に接続しているにも拘わらず届出書が未提出の特定事業場に関する調査を実施しました。</li> <li>新たな規制物質や規制強化物質（暫定排水基準の見直し含む）の情報収集を実施しました。</li> <li>施設見学会、下水道出前教室、市町村主催のイベント等で、下水道の正しい使い方について啓発活動を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標について一部の管理目標を達成することができませんでしたが、その他は達成することができました。今後も目標達成に向けて取り組みを進めていきます。</li> <li>今期目標について一部の管理目標を達成することができませんでしたが、その他は達成することができました。今後も目標達成に向けて取り組みを進めていきます。</li> <li>計画通りに取り組みを進めることができました。</li> <li>計画通りに取り組みを進めることができました。</li> <li>計画通りに取り組みを進めることができました。</li> </ul>
	適切な維持管理の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>長寿命化支援制度等に配慮した管理計画の見直し</li> <li>管路施設維持管理マニュアルの実施検証</li> <li>下水道設備管理台帳システムの活用</li> <li>管路施設維持管理情報の活用</li> <li>臭気モニター制度の継続実施</li> <li>環境対策目標の達成</li> <li>その他上記目標の達成に関連する取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長寿命化支援制度等に配慮した管理計画の策定</li> <li>改正下水道法の維持修繕基準及び管路施設維持管理マニュアルに基づいた適切な管理の実施</li> <li>下水道設備管理台帳システムの活用</li> <li>管路施設維持管理情報の活用</li> <li>臭気モニター制度の継続実施</li> <li>環境対策目標の達成</li> <li>建設事業への積極的な関与</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県で策定した長寿命化計画に同調した長期的な施設・設備管理計画を策定しました。</li> <li>改正下水道法の維持修繕基準及び管路施設維持管理マニュアルに基づき適切な管路管理を実施しました。</li> <li>下水道設備管理台帳システムの機能維持のため、不具合情報の収集及び改善等を行いました。</li> <li>長寿命化支援制度への対応、広域ネットワーク化等に関する情報収集に努めました。</li> <li>管路施設情報管理システムの運用方法の再確認を行い、維持管理情報の蓄積、活用、保全を実施しました。</li> <li>環境保全モニター制度により、地域住民と臭気に関する意見交換を行い、その意見を施設管理に反映させました（富士北麓流域）。</li> <li>地元区長に対し、管理状況の報告及び意見交換を行い、その意見を施設管理に反映させました（桂川流域）。</li> <li>水処理、汚泥処理施設からの臭気漏洩に配慮するとともに、消臭剤の適切な添加を行いました。</li> <li>県が実施する施設の新設・増設・更新工事の設計・施工協議や長寿命化計画策定へ参画し、維持管理情報を提供しました。</li> <li>県発注工事の円滑な施工に協力しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>計画通りに取り組みを進めることができました。</li> </ul>
	効率的な民間委託の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>桂川流域下水道運転管理等業務における包括的民間委託の事後評価</li> <li>事後評価委員会の提言などに基づく包括的民間委託の改善</li> <li>その他上記目標の達成に関連する取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>桂川流域下水道運転管理等業務における包括的民間委託の事後評価</li> <li>事後評価委員会の提言などに基づく包括的民間委託内容の改善</li> <li>維持管理の質と安定性を確保するための履行確認の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>桂川流域における包括的民間委託の事後評価を実施し、有効性が確認されました。</li> <li>4つの流域で包括的民間委託の見直しを行い、包括的民間委託内容の改善を行いました。</li> <li>包括的民間委託の履行確認、施設機能確認を適切に実施し、維持管理の質と安定性を確保することができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>計画通りに取り組みを進めることができました。</li> </ul>
	地球環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー管理標準及び山梨県下水道公社管理本館省エネ実行計画に基づく省エネ活動の推進</li> <li>原単位電力量管理目標の達成</li> <li>エネルギー原単位又は電気需要平準化評価原単位の年平均1%以上低減の達成</li> <li>その他上記目標の達成に関連する取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー管理標準及び山梨県下水道公社管理本館省エネ実行計画の実行</li> <li>原単位電力量管理目標の達成</li> <li>エネルギー原単位又は電気需要平準化評価原単位の年平均1%以上低減の達成</li> <li>下水道エネルギー資源の活用に関する情報把握及び調査研究</li> <li>新エネルギーの活用に関する情報把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー管理標準に基づくエネルギー使用合理化への取り組みを実行しました。</li> <li>管理本館省エネ実行計画に基づき省エネ活動を実行するとともに、省エネ活動の啓発・周知を図りました。</li> <li>平成28年度に桂川流域で開催した第31回下水道まつりにおいて、イベント開催に伴い排出されるCO<sub>2</sub>の一部を対象に、オフセットクレジットを利用したカーボン・オフセットに取り組みました。</li> <li>地球温暖化対策の推進に関する法律及びエネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づき、下水道関連事業場のエネルギー使用量、中長期計画書、定期報告書を取りまとめました。</li> <li>施設の運転効率化、負荷の平準化に努めました。</li> <li>施設の新設、増設、更新工事の設計・施工協議等において、省エネ機器等の導入を県に要望しました。</li> <li>エネルギー管理標準に基づくエネルギー使用合理化に配慮した維持管理に努めました。</li> <li>下水道エネルギー資源活用関連技術の情報収集に努めました。</li> <li>新エネルギーの活用について、関連施策・技術等の情報の入手に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>一部計画通りに取り組みを進めることができませんでした。今後も計画に即して取り組みを進めていきます。計画通りに取り組みを進めることができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> </ul>
	循環のみちへの貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水汚泥の100%有効活用の継続</li> <li>下水資源有効化に関する検討への参画</li> <li>その他上記目標に関連する取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水汚泥の100%有効活用の継続</li> <li>下水資源有効化に関する検討への参画</li> <li>物品調達等における環境負荷低減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生した下水汚泥については、肥料又はセメント原料として100%有効利用しました。</li> <li>今期については、下水資源有効化に関する検討会は開催されませんでした。</li> <li>事業系ごみの分別・リサイクルに努めました。</li> <li>事務用品等の調達において、環境配慮型の物品調達（グリーン購入）を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>計画通りに取り組みを進めることができました。</li> </ul>
	コスト縮減や下水道技術の研究の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の自発的な発想に基づくコスト縮減対策・調査研究の実施</li> <li>コスト縮減対策・調査研究成果の社外への情報発信</li> <li>その他上記目標の達成に関連する取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の自発的な発想に基づくコスト縮減対策の実施</li> <li>職員の自発的な発想に基づく調査研究の実施</li> <li>コスト縮減対策の社外への情報発信</li> <li>調査研究成果の社外への情報発信</li> <li>関係機関及び外部機関との共同研究に備えた環境構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>包括的民間委託の導入、再生可能エネルギー発電促進賦課金減免申請、自家用電気工作物保安管理業務の複数年契約導入等のコスト縮減対策を実施しました。</li> <li>中継ポンプ場汚水ポンプのインバータ制御による汚水ポンプ連続運転の有効性について等、各流域毎にテーマを決め、調査研究を実施しました。</li> <li>コスト縮減検討結果は社内周知し、職員間の情報共有を図りました。</li> <li>調査研究成果は関係機関への配布、社内報告会の開催、ホームページでの公開により広く情報発信しました。</li> <li>関係機関及び外部機関との共同研究等の情報収集を行いました。</li> <li>桂川流域において神奈川県との共同事業（水質浄化モデル事業としてリン除去を目的としたPAC処理及びモニタリング調査等）を実施しました。</li> <li>外部機関（日本下水道事業団・機械メーカー・薬品メーカー）に試料や実験機会の提供を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>計画通りに取り組みを進めることができました。</li> </ul>
	下水道行政支援事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質分析受託事業の継続実施</li> <li>公共下水道維持管理受託事業の継続実施と今後の技術支援手法の検討</li> <li>下水道排水設備工事責任技術者の更新講習会の手法検討</li> <li>下水道排水設備工事責任技術者資格認定共通試験制度への対応検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質分析受託事業の継続実施</li> <li>公共下水道維持管理受託事業の継続実施と今後の技術支援手法の検討</li> <li>下水道排水設備工事責任技術者の更新講習会の手法検討</li> <li>下水道排水設備工事責任技術者資格認定共通試験制度への対応検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>流域関連市町村から公共下水道接続点水質調査を受託しました。</li> <li>公共下水道マンホールポンプ維持管理業務、公共下水道マンホールポンプ技術援助業務を受託しました。</li> <li>下水道排水設備工事責任技術者登録更新講習会、認定試験講習会を企画、実施しました。また、登録更新講習会は平成28年度から、認定試験講習会は平成30年度から講師を外部に委託し、講習会の内容を充実させました。</li> <li>平成30年度に「下水道排水設備工事責任技術者資格認定共通試験制度」を導入しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> </ul>
		新たな協力業務等の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連事業への協力業務ニーズの調査・分析・試行</li> <li>施設増設改善要望における増設・更新提案の継続</li> <li>設計協議及び施工協議への参画</li> <li>長寿命化計画策定への参画</li> <li>協力業務の広報手法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連事業への協力業務ニーズの調査・分析・試行</li> <li>下水道事業実施市町村下水道相談窓口の開設</li> <li>施設増設改善要望における増設・更新提案の継続</li> <li>設計協議及び施工協議への参画</li> <li>長寿命化計画策定への参画</li> <li>協力業務の広報手法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設事業への協力を円滑に行うことができるように県と協議を行いました。</li> <li>平成29年度にホームページに下水道事業実施市町村下水道相談窓口を開設しました。</li> <li>施設増設改善に係る要望を県に提出するとともに協議及び現地確認を行いました。</li> <li>建設事業に関わる設計・施工協議へ参画しました。</li> <li>長寿命化計画及びストックマネジメント計画策定への協力を行いました。</li> <li>下水道排水設備工事責任技術者資格認定共通試験制度を導入したため、ホームページ等で広報を行いました。</li> </ul>

公益財団法人山梨県下水道公社 第3期経営計画目標達成状況 (2/2)

項目	目標	計画	主な取組状況	評価及び今後の対応		
普及啓発事業	下水道事業の情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県及び下水道事業実施市町村との協働による普及啓発活動の継続実施</li> <li>・効果的な普及啓発手法の研究</li> <li>・ホームページにおける広報手法の検討</li> <li>・環境学習の推進</li> <li>・21世紀型下水道に関する情報発信内容の検討</li> <li>・その他上記目標の達成に関連する取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県及び下水道事業実施市町村との協働による普及啓発活動の継続実施</li> <li>・効果的な普及啓発手法の研究</li> <li>・ホームページにおける広報手法の検討</li> <li>・環境学習の推進</li> <li>・21世紀型下水道に関する情報発信内容の検討</li> <li>・行政機関や関連事業者への広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県、流域関連市町村と連携し、下水道まつり、駅頭・街頭PRを実施しました。</li> <li>・流域関連市町村からの依頼により、地域イベントで普及啓発活動を実施しました。</li> <li>・県民の日イベントでPR活動を実施しました。</li> <li>・施設見学者やポスターコンクール参加者を増加させるため、県内小学校に案内文書を送付しました。</li> <li>・下水道まつりの開催内容の検討を行いました。</li> <li>・ホームページの掲載内容を随時検討、更新しました。</li> <li>・施設見学に来場できない小学校などを対象にした下水道出前教室や水資源環境保全・再生かながわ県民会議の事業モニターへの協力など、従来の施設見学とは異なる手法での啓発活動にも積極的に取り組みました。</li> <li>・施設見学、下水道出前教室、県・市町村主催イベント等で水循環・資源（下水汚泥）循環に関する説明を実施しました。※21世紀型下水道：健全な水循環と資源循環を創出する下水道</li> <li>・下水道管理担当者会議にて、水酸化促進施策などの情報を提供しました。</li> <li>・下水道排水設備工事責任技術者更新講習会にて、責任技術者への水酸化促進の働きかけを行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>計画通りに取り組みを進めることができました。</li> </ul>	
	下水道技術者の養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道事業実施市町村の技術者養成ニーズの調査・分析</li> <li>・各種研修会等の開催や講師派遣の継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道事業実施市町村の技術者養成ニーズの調査・分析</li> <li>・各種研修会等の開催や講師派遣の継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術者養成ニーズの把握のため、市町村へのアンケート調査を実施しました。</li> <li>・下水道管理担当者会議において、流域関連市町村に対し、技術情報の提供を行いました。</li> <li>・下水道排水設備工事責任技術者更新講習会・試験講習会を開催しました。</li> <li>・県主催の下水道関係防災訓練に協力しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> </ul>	
	危機管理	危機管理への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCPや各種マニュアルに基づく訓練実施</li> <li>・BCPや各種マニュアルの見直し</li> <li>・その他上記目標の達成に関連する取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルに基づく訓練実施</li> <li>・各種マニュアルの見直し</li> <li>・主要設備の健全性確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県と連携し、情報伝達訓練を実施しました。</li> <li>・メンテナンス業者と合同で防災訓練を実施しました。</li> <li>・県・市町村・メンテナンス業者と合同で地震災害訓練を実施しました。</li> <li>・災害配備体制や緊急連絡体制等において、随時更新を行い、情報の最新化を図りました。</li> <li>・主要機器管理計画に則り計画的な予防保全を実施しました。</li> <li>・桂川流域において、B-DASHプロジェクト検証技術を活用した圧送管路腐食調査を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>計画通りに取り組みを進めることができました。</li> </ul>
		公益法人としての事業運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益性を意識した事業展開の検討</li> <li>・コンプライアンス、ガバナンス、ディスクロージャーの徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益性を意識した事業展開の検討</li> <li>・コンプライアンス、ガバナンス、ディスクロージャーの徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益法人として事業の公益性、技術的能力、法令遵守、内部統治及び情報公開を確立しながら業務の運営及び事業を実施しました。また、収支相償、公益目的事業比率、遊休財産の保有制限及び適正性のある支出処理等の事務処理を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標を達成することができました。</li> </ul>
	経営基盤	自立した経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・安全なサービスの継続</li> <li>・汚水処理費の抑制</li> <li>・電子情報セキュリティ対策の推進</li> <li>・技術情報に関する情報公開ルールの検討</li> <li>・その他上記目標の達成に関連する取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・安全なサービスの継続</li> <li>・汚水処理費の抑制</li> <li>・電子情報セキュリティ対策の推進</li> <li>・技術情報に関する情報公開ルールの検討</li> <li>・下水道行政支援の推進</li> <li>・民間活用の推進</li> <li>・公表事項の検討、経営情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急用資機材の保守点検を計画的に行いました。</li> <li>・各種訓練を企画し実施しました。</li> <li>・予算・財政計画策定時において、機器分解点検の平準化を図り、汚水処理費の平準化に努めました。</li> <li>・電子情報セキュリティ対策マニュアルの運用、暗号化の推進、人事異動に伴う電子システム使用環境の移行等を実施し、セキュリティ対策及び電子情報漏洩防止を図りました。</li> <li>・公益性に配慮した技術情報に関する情報公開ルールを検討しながら、当公社の情報公開に関する要綱に基づき対応しました。</li> <li>・下水道行政支援として、予算・財政計画案の作成、公共下水道接続流入承認、流入下水量の計測・市町村水量算出、各種統計調査、道路・河川占用更新事務等を行いました。</li> <li>・富士北麓、峡東及び釜無川流域において包括的民間委託を本格実施しました。</li> <li>・桂川流域において包括的民間委託の試行を継続しました。</li> <li>・富士北麓、桂川流域において、脱水汚泥収集運搬処分業務について指名競争入札を試行導入しました。</li> <li>・ホームページで経営情報を提供するとともに、公益法人として閲覧請求に応じることが必要な書類を本社及び各センターに備え置きました。</li> <li>・県出資法人情報公開に関する要綱で定める書類を県民情報センターへ提供するとともに本社へ備え置きました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を一部達成することができませんでした。今後も目標達成に向けて取り組みを進めていきます。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>計画通りに取り組みを進めることができました。</li> <li>計画通りに取り組みを進めることができました。</li> <li>計画通りに取り組みを進めることができました。</li> </ul>
組織の活性化と人材育成		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に応じた機能的な業務執行体制の検討</li> <li>・年齢構成の偏りの解消に向けた職員採用方法の検討</li> <li>・資格取得の強化</li> <li>・職員相互のバックアップ体制の構築</li> <li>・その他上記目標の達成に関連する取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に応じた機能的な業務執行体制の検討</li> <li>・年齢構成の偏りの解消に向けた検討</li> <li>・資格取得の強化</li> <li>・職員相互のバックアップ体制の構築</li> <li>・職員のコスト意識の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務担当職員1名を臨時職から正規職員とし、本社機能を強化しました。また、センター事務職は臨時職を配置するとともに再雇用職員を活用しました。</li> <li>・正規職員の退職に伴い、業務体制を確保するため新規採用を実施しました。</li> <li>・各種研修及び資格取得講習会へ職員を派遣しました。</li> <li>・職員相互のバックアップ、非常時における適切な対応を行うことを目的に、様々な職種の職員が管路管理業務を分担することを推進しました。</li> <li>・職員のコスト意識を向上するため、電気・機械・化学・事務の各班毎にコスト削減の検討を働きかけました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>計画通りに取り組みを進めることができました。</li> </ul>	
事務業務の改善		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約事務業務の再点検及び見直し</li> <li>・会計システムの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約事務業務の再点検及び見直し</li> <li>・会計システムの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務処理のスリム化のため、手書きで作成していた出金伝票等をパソコン入力に変更し、運用することとしました。</li> <li>・会計システムを更新し、運用強化を図ったことにより、従来より迅速かつ正確な財務処理が可能となり、事務業務の効率化が図られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約業務における電子化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約業務における電子化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務委託・修繕の一部において、成果品の電子納品を行いました。</li> <li>・入札公告等において、資料をホームページから配布しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標を達成することができました。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務全般におけるペーパーレス化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務全般におけるペーパーレス化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子メール・電子化ソフトを積極的に活用しました。</li> <li>・社内会議の一部をペーパーレス会議としました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標を達成することができました。</li> </ul>	
中・長期的視点に立った事業推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱水汚泥収集運搬処分業務への指名競争入札試行導入の評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱水汚泥収集運搬処分業務への指名競争入札試行導入の評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士北麓、桂川流域において、脱水汚泥収集運搬処分業務について指名競争入札を試行導入し、競争性、透明性の確保に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標を達成することができました。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支計画及び実証に基づく毎年の予算編成</li> <li>・流域下水道維持管理財政計画策定への協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支計画及び実証に基づく毎年の予算編成</li> <li>・流域下水道維持管理財政計画策定への協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支計画を策定し、効率的かつ健全な運営に努めました。</li> <li>・収支の状況を検証し、これに基づく適正な予算編成を行いました。</li> <li>・流域下水道維持管理財政計画の策定協力を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期目標を達成することができました。</li> <li>今期目標を達成することができました。</li> </ul>	